

# 太田市 循環型社会形成推進地域計画

太田市  
平成23年10月

# 目 次

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項.....	1
(1) 対象地域 .....	1
(2) 計画期間 .....	1
(3) 基本的な方向 .....	1
2. 循環型社会形成推進のための現状と目標.....	2
(1) 生活排水の処理の現状 .....	2
(2) 生活排水処理の目標 .....	5
3. 施策の内容.....	6
(1) 発生抑制、再使用の推進 .....	6
(ア) 生活排水対策.....	6
(2) 処理体制 .....	6
(ア) 生活排水処理の現状と今後.....	6
(イ) 今後の処理体制の要点.....	7
(3) 処理施設等の整備 .....	7
(ア) 廃棄物処理施設.....	7
(4) 施設整備に関する計画支援事業 .....	8
(ア) 長寿命化計画支援事業.....	8
(イ) 計画支援事業.....	8
4. 計画のフォローアップと事後評価.....	9
(1) 計画のフォローアップ .....	9
(2) 事後評価及び計画の見直し .....	9
5. 資料編.....	10
(1) 対象地域図 .....	10
(2) 目標の達成に関するグラフ等 .....	11
(3) 現有施設の概要 .....	12
(ア) 収集・運搬体制.....	12
(イ) 単独公共下水道.....	12
(ウ) 利根・渡良瀬流域関連公共下水道(新田処理区).....	13
(エ) 利根川左岸流域関連公共下水道(西邑楽処理区).....	13
(オ) コミュニティ・プラント施設.....	14
(カ) 農業集落排水処理施設.....	15
(キ) し尿処理施設(第一、第二クリーンセンター).....	16
(ク) し尿処理施設(新田クリーンセンター).....	17

## 1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

### (1) 対象地域

構成市町村名	太田市
面積	175.66 km <sup>2</sup>
人口	219,789人 (平成22年3月31日現在)

### (2) 計画期間

本計画は、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間を計画期間とする。  
なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

### (3) 基本的な方向

太田市は、関東平野の北部、群馬県南東部に位置し(東経139度、北緯36度)、南に利根川、北に渡良瀬川という2つの豊かな水量を誇る河川に挟まれた地域である。東側は大泉町・邑楽町・栃木県足利市、西側は伊勢崎市、南側は埼玉県熊谷市及び深谷市、北側は桐生市・みどり市に接している。

現在のし尿処理施設は、旧1市3町で整備されたものであるため施設配置、施設規模を適正に見直す必要がある。各施設は昭和59年～平成13年に供用開始しており、最も古い太田市第一クリーンセンターでは、稼動後26年を経過し、各施設の老朽化が懸念され施設の見直し時期を迎えている。

このような状況を踏まえて、現在想定されるし尿処理方式を技術、財政、環境の側面から整理・検討し、将来のし尿処理最適化を目指し太田市循環型社会形成推進地域計画を作成する。

## 2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

### (1) 生活排水の処理の現状

太田市の平成21年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量のフローチャートを図 2.1に示す。生活排水処理対象人口は、219,789人であり、汚水衛生処理人口は133,674人、汚水衛生処理率60.8%となっている。また、し尿発生量は16,688kL/年、浄化槽汚泥発生量は、58,468kL/年であり、処理・処分量（＝収集・運搬量）は75,156kL/年となっている。

太田市の生活排水処理形態別人口の推移は表 2.1、図 2.2、汚泥等収集量の推移は表 2.2、図 2.3に示すとおりである。公共下水道による生活排水処理が進捗しており、生活排水処理形態別人口では公共下水道による処理人口が増加傾向にあり、し尿・浄化槽汚泥収集量は減少傾向にある。

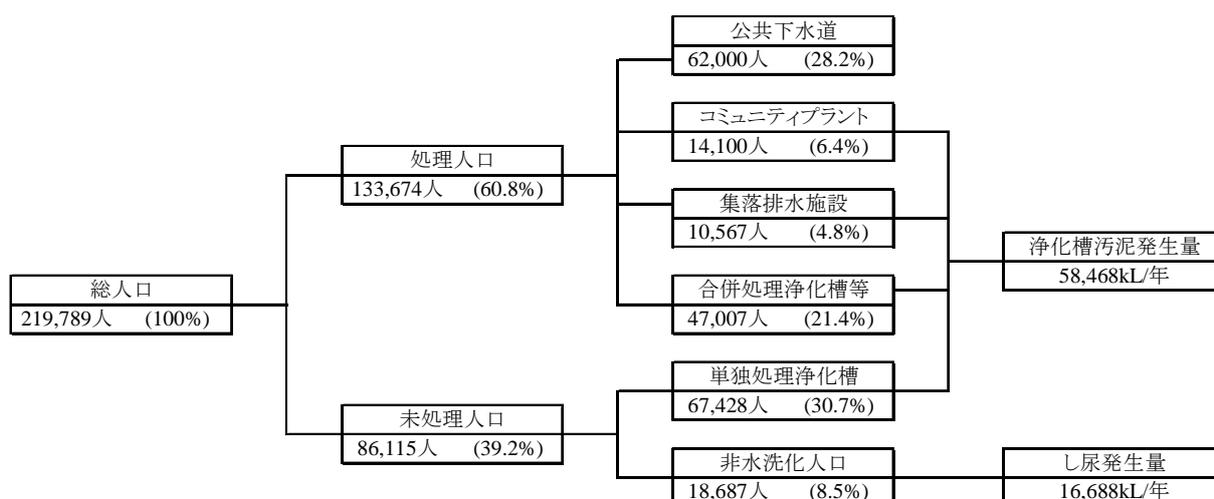


図 2.1 生活排水の処理状況フロー

表 2.1 太田市の生活排水処理形態別人口の推移

単位:人

年度	行政人口	公共下水道		コミュニティ・プラント	農業集落排水		戸別浄化槽	浄化槽(個人設置)	未処理人口*
		区域内人口	接続人口	処理人口	区域内人口	接続人口	処理人口	処理人口	処理人口
平成16年度	217,038	52,579	45,057	16,080	13,110	7,993	0	41,171	106,737
平成17年度	218,033	52,989	46,020	16,547	12,879	8,636	0	43,172	103,658
平成18年度	218,185	62,267	50,600	15,981	14,240	9,273	158	42,237	99,936
平成19年度	218,981	66,219	54,340	16,166	14,484	10,164	394	44,746	93,171
平成20年度	220,078	71,323	58,266	14,089	14,666	10,574	574	45,928	90,647
平成21年度	219,789	77,077	62,000	14,100	14,738	10,567	783	46,224	86,115

各年度末

\*未処理人口は総人口から各処理人口を引いたもの。

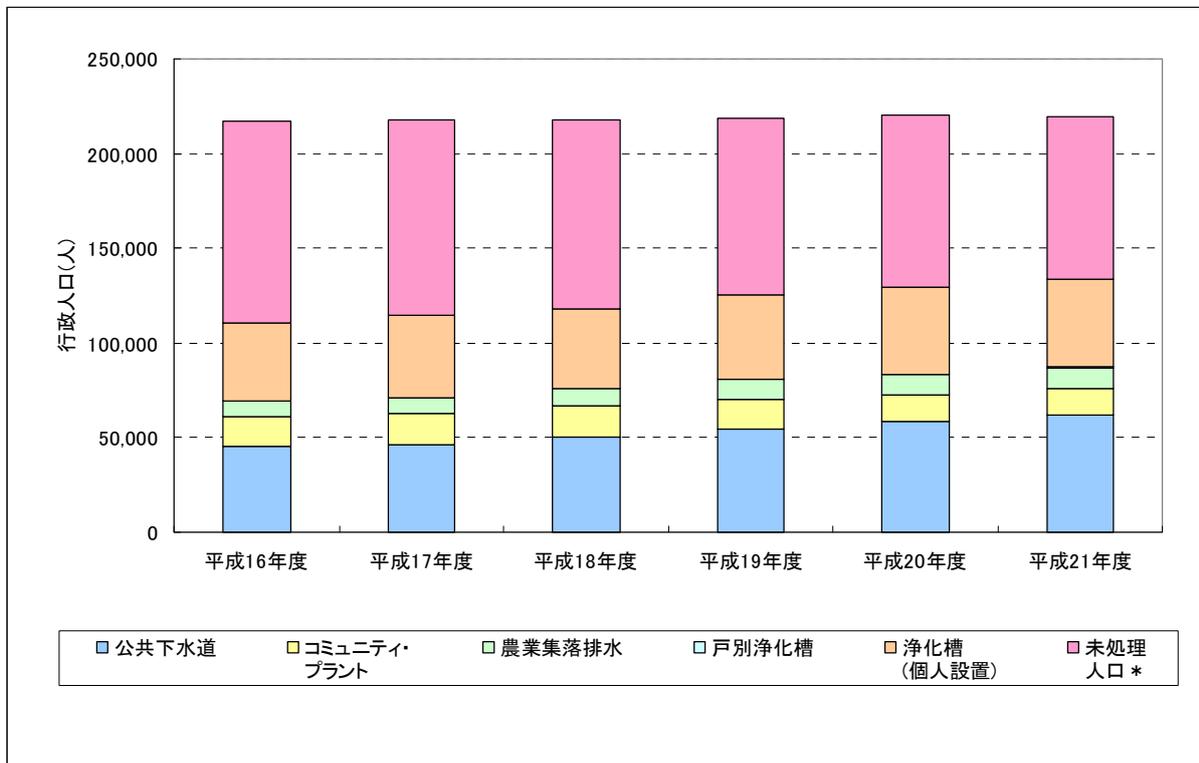


図 2.2 生活排水処理形態別人口の推移

表 2.2 太田市のし尿・浄化槽汚泥等収集量の推移

コミュニティ・プラント

年度	H18	H19	H20	H21
年間汚泥量(kL/年)	5,201	5,245	5,761	5,770
処理人口(人)	15,981	16,166	14,089	14,100
汚泥量原単位(L/人・日)	0.89	0.89	1.12	1.12

資料(汚泥量):運転管理業務報告書[団地コミュニティ・プラント]

農業集落排水

年度	H18	H19	H20	H21
年間汚泥量(kL/年)	3,425	3,687	4,116	4,167
接続人口(人)	9,273	10,164	10,574	10,567
汚泥量原単位(L/人・日)	1.01	0.99	1.07	1.08

資料(年間汚泥量):運転管理業務報告書[農業集落排水処理施設]

浄化槽

年度	H18	H19	H20	H21
年間汚泥量(kL/年)	42,034	47,660	49,023	48,531
処理人口(人)	121,944	115,298	115,394	114,435
汚泥量原単位(L/人・日)	0.94	1.13	1.16	1.16

資料(年間汚泥量):クリーンセンター施設概要

※処理人口は戸別処理人口, 浄化槽(個人設置), 単独浄化槽の合計値

し尿

年度	H18	H19	H20	H21
年間汚泥量(kL/年)	17,976	19,323	17,727	16,688
処理人口(人)	20,387	23,013	21,755	18,687
汚泥量原単位(L/人・日)	2.42	2.30	2.23	2.45

資料(年間汚泥量):クリーンセンター施設概要

※1:汚泥量はし尿, 生活汚泥の合計値

※2:処理人口は汲み取り人口

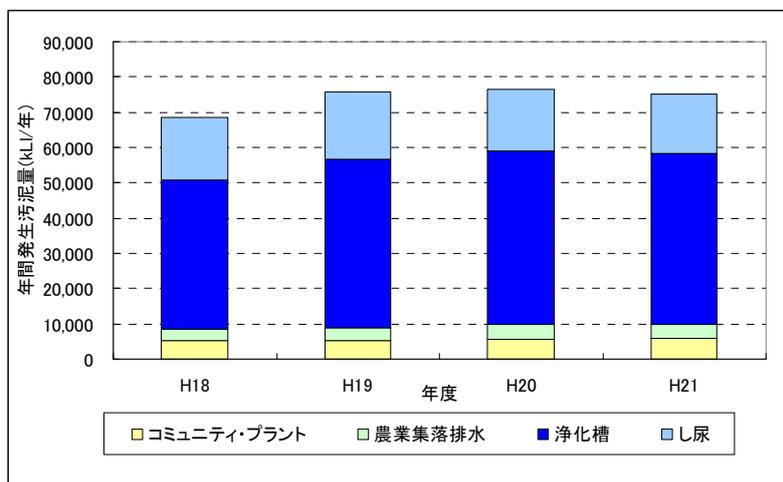


図 2.3 し尿・浄化槽汚泥等収集量の推移

(2) 生活排水処理の目標

太田市における生活排水処理率の現状と将来目標について、表 2.3に示す。

表 2.3 生活排水処理に関する現状と目標

項 目		平成21年度 (実績)	平成29年度 (目標年度)
処理形態別人口	公共下水道	62,000 人 (28.2%)	69,590 人 (32.4%)
	コミュニティ・プラント	14,100 人 (6.4%)	13,800 人 (6.4%)
	農業集落排水	10,567 人 (4.8%)	12,470 人 (5.8%)
	合併処理浄化槽	47,007 人 (21.4%)	56,690 人 (26.4%)
	未処理人口	86,115 人 (39.2%)	62,550 人 (29.0%)
	合計	219,789 人	215,100 人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	16,688 kL	10,892 kL
	浄化槽汚泥量	58,468 kL	60,714 kL
	合計	75,156 kL	71,606 kL

### 3. 施策の内容

#### (1) 発生抑制、再使用の推進

##### (ア) 生活排水対策

家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、次の啓発活動の強化を図る。

- 広報活動の実施やパンフレットの作成
- 市のホームページ
- 地区ごとの説明会の開催

#### (2) 処理体制

##### (ア) 生活排水処理の現状と今後

太田市における生活排水処理の現状と今後について、整備手法別に以下の通り示す。

各処理方式における現況人口については、住民基本台帳人口による値である。

##### ▶ 公共下水道施設

公共下水道事業については、単独公共下水道、利根・渡良瀬流域関連、利根川左岸流域関連の処理区域がある。平成21年度末における処理区域内人口は、単独公共下水道が52,054人、利根・渡良瀬流域関連が12,738人、利根川左岸流域関連が9,566人であり、合計で74,358人である。

公共下水道は、市街地等人口密集地を中心に引き続き単独公共下水道、利根・渡良瀬流域関連、利根川左岸流域関連の事業計画認可区域の整備・拡大を推進するとともに整備区域内の下水道接続率の向上を目指す。

##### ▶ 農業集落排水事業施設

農業集落排水事業は、太田東地区、毛里田北地区、強戸北地区、金山東地区、下田中地区、中江田北地区、市野井・市地区、中江田南地区、市野倉地区、般若地区、村田・小金井地区で供用されている。平成21年度末で区域内人口は14,218人、接続人口は10,194人である。また、平成23年度より前小屋地区が供用開始となる。

農業集落排水事業は、接続率の向上を進め、生活排水処理率の向上を目指す。

##### ▶ コミュニティ・プラント

コミュニティ・プラントは、成塚住宅団地、矢場新町住宅団地、宝町住宅団地、パルタウン城西の杜、いずみ団地、いくしな団地、やすらぎ団地で供用されている。平成21年度末で処理人口は13,603人である。

コミュニティ・プラントは適切な維持管理を行い、公共下水道の進捗状況に合わせて公共下水道への接続の検討を行っていく。

➤ 合併処理浄化槽

太田市においては、戸別浄化槽と合併処理浄化槽により浄化槽整備を行っている。

戸別浄化槽は、平成18年度より事業が開始され、平成21年度末で処理区域内人口は755人、処理戸数は236戸である。

集合処理区域及び戸別浄化槽区域外で整備が行われており、浄化槽設置整備事業を中心に、合併処理浄化槽の設置普及に努めている。

平成21年度末における、合併処理浄化槽の設置済人口は44,593人、処理戸数は16,515戸である。

合併処理浄化槽については、公共下水道整備区域、農業集落排水事業処理区域、コミュニティ・プラント区域及び戸別浄化槽区域以外の地域については、合併処理浄化槽の設置に対する補助を引き続き実施していく。

➤ 単独処理浄化槽・非水洗化人口

単独処理浄化槽・非水洗化人口は、平成21年度末時点で64,509人いると推計される。このことから、全体の30.4%が生活排水処理施設未整備の状況であることが分かる。

今後は単独処理浄化槽設置住宅の合併処理浄化槽への転換の啓発を行い、生活排水処理率の向上を目指す。

(イ) 今後の処理体制の要点

- ◇ 新田クリーンセンターを平成29年度に停止し、平成29年度以降は第一・第二クリーンセンターの2施設で一元化して処理を行うこととする。

(3) 処理施設等の整備

(ア) 廃棄物処理施設

上記の(2)の生活排水処理体制により、引き続き発生するし尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥を適切に処理するため、表 3.1のとおり必要な施設整備を行う。

表 3.1 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間(年度)
1	し尿処理施設	第一・第二クリーンセンター基幹的設備改良事業	164kL/日 (平成29年度)	群馬県太田市 古戸町1139番地	H27～ H28

□ 現有処理施設の概要を資料として別に添付する（市町村別の現有施設名・種類、処理する廃棄物、処理能力、所在地、竣工年等、施設の概要について一覧表としたもの）

(整備理由) 事業番号1 し尿処理施設の老朽化

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表 3.2のとおり長寿命化計画を策定し、表 3.3のとおり計画支援事業を行う。

(ア) 長寿命化計画支援事業

施設を継続利用する予定である第一・第二クリーンセンターについて、長寿命化計画を策定する。

表 3.2 実施する長寿命化計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	長寿命化計画策定支援事業	施設保全・延命化計画	H25

(イ) 計画支援事業

(ア)にて計画する、長寿命化計画に基づき表 3.3に示す計画支援事業を実施する。

表 3.3 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
32	施設整備事業計画	基本設計等	H26
33	発注仕様書作成	発注仕様書等	H26
34	施設設計支援	施設設計管理支援	H27

## 4. 計画のフォローアップと事後評価

### (1) 計画のフォローアップ

太田市は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、群馬県及び国と意見を交換しつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

### (2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

表 4.1 事後評価の重点項目

内容		評価のポイント
1	汚水衛生処理率	・公共下水道及び合併処理浄化槽の普及に伴う汚水衛生処理率を評価する。
2	処理後汚泥の資源化状況	・処理後汚泥は全量資源化を目標とする。



(2) 目標の達成に関するグラフ等

将来の生活排水処理形態別人口の推移、し尿等発生量の予測について示す。

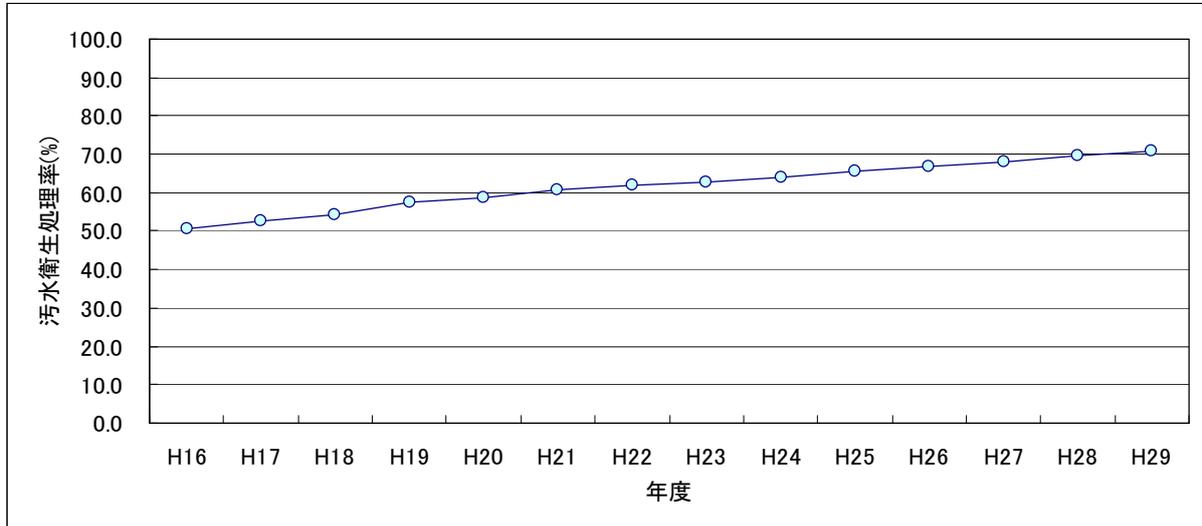


図 5.2 生活排水処理の目標(汚水衛生処理人口の割合)

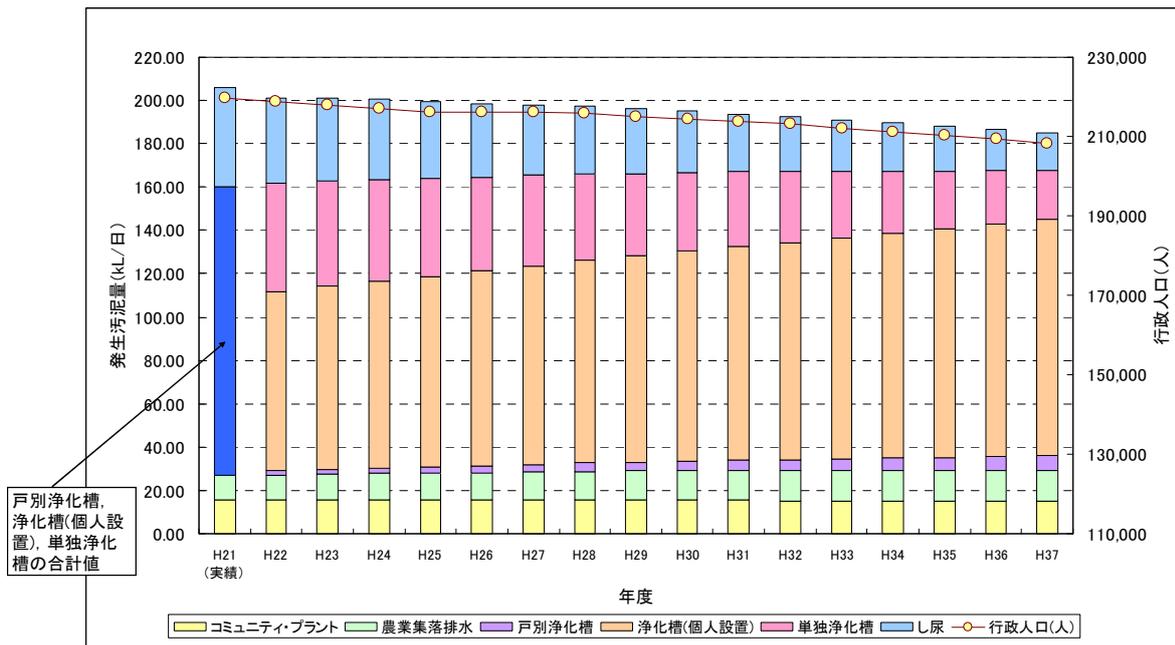


図 5.3 し尿等発生量の予測

(3) 現有施設の概要

(ア) 収集・運搬体制

表 5.1 収集及び運搬体制

収集区域	許可業者数	収集車両台数 (台)	合計積載量 (t)	し尿件数	浄化槽件数
太田	10	30	87.0	2,670	9,936
太田・新田・藪塚本町	1	4	11.7	320	950
尾島	3	8	25.8	574	2,624
新田	4	14	59.3	718	2,319
藪塚本町	4	16	49.2	901	1,265
新田・藪塚本町	1	15	56.5	768	1,725
合計	23	87	289.5	5,951	18,819

平成23年4月1日 許可

出典：一般廃棄物収集運搬業及び浄化槽清掃業許可証台帳

(イ) 単独公共下水道

太田市の単独公共下水道事業は、昭和41年に第1期事業として329.7haの区域について認可を受け、事業に着手している。平成21年度末において、整備面積は1,167.66ha(認可面積に対する進捗率88.69%)である。

太田市の公共下水道事業の概要を表 5.2に示す。

表 5.2 単独公共下水道事業計画の概要

中央第1処理区				中央第2処理区			
項目	単位	全体計画	事業計画	項目	単位	全体計画	事業計画
計画目標年度		平成27年	平成25年	計画目標年度		平成27年	平成25年
計画区域面積	ha	361	361	計画区域面積	ha	1,399	883
計画処理人口	人	19,800	19,800	計画処理人口	人	49,400	34,700
排水方式		合流式(一部分流)	同左	排水方式		分流式	同左
計画日最大汚水量	m3/日	14,000	13,900	計画日最大汚水量	m3/日	32,700	18,600
終末処理場		中央第一 浄化センター	同左	終末処理場		中央第二 浄化センター	同左
処理方式		標準活性汚泥法	同左	処理方式		標準活性汚泥法	同左

(ウ) 利根・渡良瀬流域関連公共下水道(新田処理区)

利根・渡良瀬流域関連公共下水道(新田処理区)は平成4年度に事業認可を受け、事業に着手している。平成21年度末において、整備面積は377.14ha(認可面積に対する進捗率68.8%)である。

利根・渡良瀬流域関連公共下水道(新田処理区)の概要を表 5.3に示す。

表 5.3 利根・渡良瀬流域関連公共下水道(新田処理区)の概要

項目	単位	全体計画	事業計画
計画目標年度		平成27年	平成24年
計画区域面積	ha	2,960	620
計画処理人口	人	88,930	20,360
排水方式		分流式	同左
計画日最大汚水量	m <sup>3</sup> /日	38,270	8,320
終末処理場		利根備前島 水質浄化センター	同左
処理方式		凝集剤添加活性汚泥法 +急速ろ過法+活性炭吸着法	凝集剤添加活性汚泥法

(エ) 利根川左岸流域関連公共下水道(西邑楽処理区)

利根川左岸流域関連公共下水道(西邑楽処理区)は平成5年度に事業認可を受け、事業に着手している。平成21年度末において、整備面積は222.23ha(認可面積に対する進捗率77.2%)である。

利根川左岸流域関連公共下水道(西邑楽処理区)の概要を表 5.4に示す。

表 5.4 利根川左岸流域関連公共下水道(西邑楽処理区)の概要

項目	単位	全体計画	事業計画
計画目標年度		平成27年	平成23年
計画区域面積	ha	1,070	288
計画処理人口	人	29,700	8,450
排水方式		分流式	同左
計画日最大汚水量	m <sup>3</sup> /日	23,053	6,985
終末処理場		西邑楽 水質浄化センター	同左
処理方式		嫌気-好気活性汚泥法(凝集剤添加あり) +急速ろ過法+活性炭吸着法	同左

## (オ) コミュニティ・プラント施設

太田市におけるコミュニティ・プラント施設は現在7箇所で開催されている。供用されている施設で最も古い宝町団地コミュニティ・プラントは、昭和48年に供用開始されており経過年数は36年を越している。

コミュニティ・プラント施設の概要を表 5.5に示す。

表 5.5 コミュニティ・プラント施設の概要

施設名称	宝町団地コミュニティ・プラント	矢場新町団地コミュニティ・プラント	成塚団地コミュニティ・プラント	バルタウン城西の杜コミュニティ・プラント
位置	太田市宝町773	太田市矢場新町122	太田市成塚町150-88	太田市城西町4-2
面積	4,076.00 m <sup>2</sup>	2,711.61 m <sup>2</sup>	3,500.00 m <sup>2</sup>	3,000.00 m <sup>2</sup>
処理区域面積	257,394 m <sup>2</sup>	200,000 m <sup>2</sup>	267,000 m <sup>2</sup>	409,000 m <sup>2</sup>
処理規模	3,200 kL/日	1,300 kL/日	1,750 kL/日	1,691 kL/日
能力処理計画人口	6,400 人 ( 500 kL/日)	2,600 人 ( 500 kL/日)	3,500 人 ( 500 kL/日)	3,800 人 ( 445 kL/日)
計画平均汚水量	3,200 kL/日	910 kL/日	1,225 kL/日	1,183 kL/日
計画最大汚水量	6,400 kL/日	1,300 kL/日	1,750 kL/日	1,691 kL/日
処理方法	標準活性汚泥法(分流式)	長時間曝気方式(分流式)	長時間曝気方式(分流式)	長時間曝気方式(分流式)
放流先	石田川	観音堀用水(並川水系)	蛇川	高寺川
供用開始日	昭和44年9月	昭和51年9月	昭和57年8月	平成9年7月
経過年数(平成21年度末時点)	36年	29年	23年	8年

施設名称	いずみ団地コミュニティ・プラント	やすらぎ団地コミュニティ・プラント	いくしな団地コミュニティ・プラント
位置	太田市早川町10-4	太田市上江田町1513-2	太田市瑞木町13-17
面積	6,235.60 m <sup>2</sup>	375.00 m <sup>2</sup>	2,353.00 m <sup>2</sup>
処理区域面積	345,000 m <sup>2</sup>	65,000 m <sup>2</sup>	226,000 m <sup>2</sup>
処理規模	2,000 kL/日	142 kL/日	1,128 kL/日
能力処理計画人口	5,464 人 ( 366 kL/日)	330 人 ( 430 kL/日)	2,190 人 ( 515 kL/日)
計画平均汚水量	2,000 kL/日	142 kL/日	790 kL/日
計画最大汚水量	4,000 kL/日	355 kL/日	1,128 kL/日
処理方法	標準活性汚泥法(分流式)	長時間曝気方式(分流式)	長時間曝気方式(分流式)
放流先	早川	石田川	大川
供用開始日	昭和50年9月	平成1年3月	平成1年3月
経過年数(2010年3月時点)	30年	17年	17年

出典：太田市下水道のあゆみ 平成22年度版（平成21年度実績）

## (カ) 農業集落排水処理施設

太田市における農業集落排水処理施設は現在11箇所で開催されている。供用されている施設で最も古い下田中集落排水処理施設は、平成3年に供用開始されており経過年数は18年である。

農業集落排水処理施設の概要を表 5.6に示す。

表 5.6 農業集落排水処理施設の概要

施設名称	太田東集落排水処理施設	毛里田北集落排水処理施設	強戸北集落排水処理施設	金山東集落排水処理施設
位置	太田市沖之郷町22-2	太田市原宿町2998-3	太田市北金井町376	太田市東金井町1202-2
面積	2,000.00 m <sup>2</sup>	2,000.00 m <sup>2</sup>	2,210.00 m <sup>2</sup>	1,955.00 m <sup>2</sup>
処理区域面積	450,000 m <sup>2</sup>	740,000 m <sup>2</sup>	680,000 m <sup>2</sup>	1,290,000 m <sup>2</sup>
処理規模	219 m <sup>3</sup> /日	294 m <sup>3</sup> /日	384 m <sup>3</sup> /日	789 m <sup>3</sup> /日
能力 処理計画人口	810 人 ( 270 L/日・人)	1,090 人 ( 270 L/日・人)	1,420 人 ( 270 L/日・人)	2,630 人 ( 270 L/日・人)
計画平均汚水量	219 m <sup>3</sup> /日	294 m <sup>3</sup> /日	384 m <sup>3</sup> /日	711 m <sup>3</sup> /日
計画最大汚水量	268.0 m <sup>3</sup> /日	35.4 m <sup>3</sup> /時	46.2 m <sup>3</sup> /時	711.0 m <sup>3</sup> /日
処理方法	嫌気性ろ床併用接触曝気方式 (JARUS-III)	回分式活性汚泥方式 (JARUS-XI)	回分式活性汚泥方式 (JARUS-XI)	回分式活性汚泥方式 (JARUS-XI96)
放流先	農業用水から藤川(邑楽町)	農業用水から渡良瀬川	農業用水から八瀬川	休白川
供用開始日	平成1年9月	平成4年10月	平成9年2月	平成14年3月
経過年数(2010年3月時点)	16年	13年	9年	4年
施設名称	下田中集落排水処理施設	中江田北集落排水処理施設	市野井・市集落排水処理施設	中江田南集落排水処理施設
位置	太田市下田中町1336-1	太田市中江田町526-1	太田市市野井町960-1	太田市下江田町189-3
面積	1,364.00 m <sup>2</sup>	1,445.00 m <sup>2</sup>	2,161.00 m <sup>2</sup>	2,370.00 m <sup>2</sup>
処理区域面積	350,000 m <sup>2</sup>	640,000 m <sup>2</sup>	980,000 m <sup>2</sup>	460,000 m <sup>2</sup>
処理規模	216 m <sup>3</sup> /日	330 m <sup>3</sup> /日	537 m <sup>3</sup> /日	260 m <sup>3</sup> /日
能力 処理計画人口	790 人 ( 273 L/日・人)	1,220 人 ( 270 L/日・人)	1,990 人 ( 270 L/日・人)	960 人 ( 270 L/日・人)
計画平均汚水量	216 m <sup>3</sup> /日	330 m <sup>3</sup> /日	537 m <sup>3</sup> /日	260 m <sup>3</sup> /日
計画最大汚水量	216.0 m <sup>3</sup> /日	39.7 m <sup>3</sup> /時	64.7 m <sup>3</sup> /時	31.2 m <sup>3</sup> /時
処理方法	連続流入間欠曝気方式 (JARUS-XIVG)	嫌気性ろ床併用接触曝気方式 (JARUS-III)	オキシデーションディッチ方式 (JARUS-OD)	回分式活性汚泥方式 (JARUS-XI)
放流先	早川	石田川	大川	石田川
供用開始日	昭和62年9月	平成1年7月	平成3年9月	平成4年9月
経過年数(2010年3月時点)	18年	16年	14年	13年
施設名称	市野倉集落排水処理施設	般若集落排水処理施設	村田・小金井集落排水処理施設	
位置	太田市市野倉町248-13	太田市小金井町103-1	太田市村田町916-2	
面積	1,999.00 m <sup>2</sup>	1,400.00 m <sup>2</sup>	4,500.00 m <sup>2</sup>	
処理区域面積	1,650,000 m <sup>2</sup>	150,000 m <sup>2</sup>	1,850,000 m <sup>2</sup>	
処理規模	295 m <sup>3</sup> /日	127 m <sup>3</sup> /日	1,002 m <sup>3</sup> /日	
能力 処理計画人口	1,090 人 ( 270 L/日・人)	470 人 ( 270 L/日・人)	3,710 人 ( 270 L/日・人)	
計画平均汚水量	295 m <sup>3</sup> /日	127 m <sup>3</sup> /日	1,002 m <sup>3</sup> /日	
計画最大汚水量	35.5 m <sup>3</sup> /時	15.3 m <sup>3</sup> /時	120.6 m <sup>3</sup> /時	
処理方法	回分式活性汚泥方式 (JARUS-XI)	連続流入間欠曝気方式 (JARUS-XIV)	オキシデーションディッチ方式 (JARUS-OD)	
放流先	大川	高寺川	高寺川	
供用開始日	平成5年9月	平成10年9月	平成12年9月	
経過年数(2010年3月時点)	12年	7年	5年	

出典：太田市下水道のあゆみ 平成22年度版（平成21年度実績）

(キ) し尿処理施設(第一、第二クリーンセンター)

第一クリーンセンターは、昭和59年8月に竣工し、平成22年度時点で稼働後26年を迎えている。現在処理水は、下水道放流を行っていることから水処理のうち高度処理設備は運転を休止させている。また汚泥の処理設備についても、現在稼働を休止させており、処理は隣接する第二クリーンセンターにて行っている。

第二クリーンセンターは、平成7年3月に竣工し、平成22年度時点で稼働後15年を迎えている。なお第二クリーンセンターは、生活雑排水汚泥についても処理を行っており、固液分離処理の後標準活性汚泥法による処理を行うが、現在は稼働を休止(し尿・浄化槽汚泥と共同処理)している。

第一、第二クリーンセンターの概要を表 5.7に示す。

表 5.7 第一、第二クリーンセンターの概要

施設名			第一クリーンセンター		
施設所管			太田市		
施設所在地			〒373-0826 群馬県太田市古戸町1139番地 (TEL)0276-38-6877		
計画処理能力			100kL/日 (し尿:78kL/日、浄化槽汚泥:22kL/日)		
供用開始			昭和59年8月 設計・施工:株式会社クボタ		
処理方式			水処理: 低希釈2段活性汚泥法(+高度処理) 汚泥処理: 濃縮+脱水(+汚泥乾燥・焼却) 脱臭処理: 高濃度臭気 生物脱臭(硝化槽吹き込み) 中濃度臭気 水洗浄+活性炭吸着 低濃度臭気 活性炭吸着 ( )内は現在運転を休止している		
プロセス用水種類			地下水		
放流水質			計画値 基準値(下水道放流)		
pH			5.8~8.6 5を超え9未満		
BOD mg/L			10以下 600未満		
COD mg/L			30以下 -		
SS mg/L			10以下 600未満		
T-N mg/L			10以下 -		
T-P mg/L			1以下 -		
色度 度			30以下 -		
大腸菌群数 個/mL			3,000以下		
放流先			下水道放流(中央第一浄化センター)		

施設名			第二クリーンセンター		
施設所管			太田市		
施設所在地			〒373-0826 群馬県太田市古戸町1139番地 (TEL)0276-38-6877		
計画処理能力			120kL/日 (し尿:40kL/日、浄化槽汚泥:24kL/日、雑排水汚泥:56kL/日)		
供用開始			平成7年3月 設計・施工:住友重機械工業株式会社		
処理方式			<し尿・浄化槽汚泥系> 水処理: 標準脱窒素処理方式 高度処理: 凝集分離+オゾン酸化+ろ過 汚泥処理: 濃縮+脱水+乾燥・焼却 <雑排水汚泥系> 水処理: (固液分離+標準脱窒素処理方式) 脱臭処理: 中高濃度臭気 酸・アルカリ次亜塩素酸+活性炭吸着 低濃度臭気 活性炭吸着 高度処理・汚泥処理はし尿・浄化槽汚泥系と共通化 ( )内は現在運転を休止している		
プロセス用水種類			地下水		
放流水質			計画値 基準値(下水道放流)		
pH			5.8~8.6 5.8~8.6		
BOD mg/L			10以下 20以下		
COD mg/L			30以下 25以下		
SS mg/L			10以下 50以下		
T-N mg/L			10以下 60以下		
T-P mg/L			1以下 8以下		
色度 度			30以下 -		
大腸菌群数 個/mL			3,000以下 3,000以下		
ヘキサン抽出物質(動植物油) mg/L			15以下 -		
ヘキサン抽出物質(鉱物油) mg/L			2以下 -		
放流先			公共用水域(石田川)		

### (ク) し尿処理施設(新田クリーンセンター)

新田クリーンセンターは、平成3年3月に竣工し、平成22年度時点で稼働後19年を迎えている。し尿・浄化槽汚泥を処理対象とし、水処理方式は、ろ過膜分離方式となっている。汚泥処理は、乾燥・焼却により対応している。

なお、近年の施設処理量は、計画処理能力(46kL/日)に対して、施設設備の老朽化、し尿・浄化槽汚泥の比率変化に伴う汚泥性状の変化から、約60%程度の負荷で運転を行っており、継続して施設を運用する場合は、大規模な改修(基幹改良)について検討する必要がある。

新田クリーンセンターの概要を表 5.8に示す。

表 5.8 新田クリーンセンターの概要

施設名	新田クリーンセンター	
施設所管	太田市	
施設所在地	〒370-0343 群馬県太田市新田下田中町1342-1番地 (TEL)0276-56-6505	
計画処理能力	46kL/日 (し尿:28kL/日、浄化槽汚泥:18kL/日)	
供用開始	平成3年3月	設計・施工:三井造船(株)
処理方式	水処理: ろ過膜分離方式 高度処理: 脱リンろ過+活性炭吸着 汚泥処理: 濃縮+脱水+乾燥・焼却 脱臭処理: 高濃度臭気 燃焼脱臭 (焼却停止時は中低濃度臭気設備で脱臭) 中低濃度臭気 活性炭吸着	
プロセス用水種類	地下水	
放流水質	計画値	基準値(下水道放流)
pH	5.8~8.6	5.8~8.6
BOD mg/L	10以下	20以下
COD mg/L	30以下	25以下
SS mg/L	10以下	50以下
T-N mg/L	20以下	60以下
T-P mg/L	1以下	8以下
色度 度	30以下	—
大腸菌群数 個/mL	300以下	3,000以下
ヘキサン抽出物質(動植物油) mg/L	15以下	—
ヘキサン抽出物質(鉱物油) mg/L	2以下	—
放流先	公共用水域(早川)	

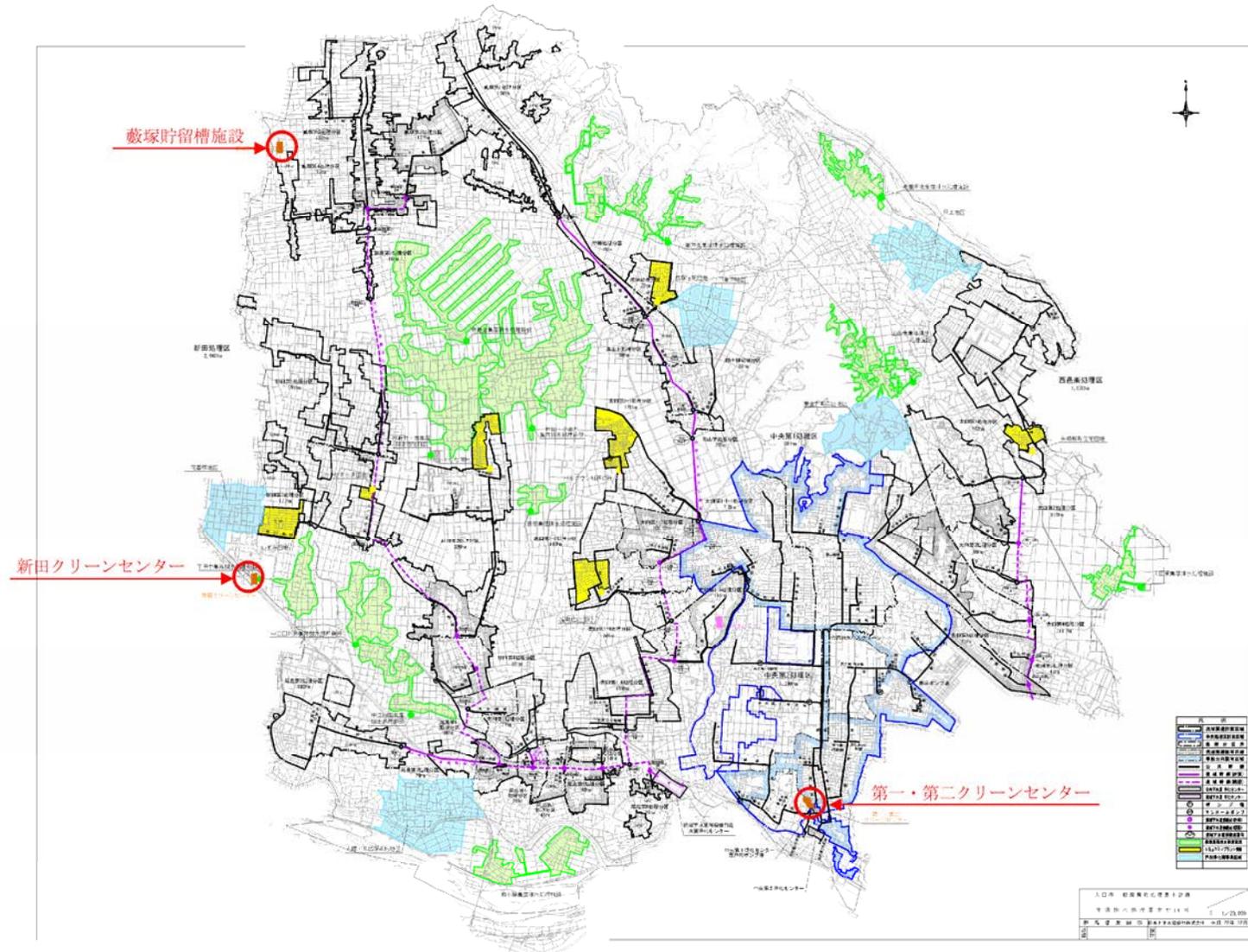


図 5.4 施設位置

様式1

循環型社会形成推進交付金事業実施総括表1 (平成23年度)

1 地域概要

(1) 地域名	太田市	(2) 地域内人口	219,789人	(3) 地域面積	175.66km <sup>2</sup>
(4) 構成市町村等名	太田市	(5) 地域の要件*	人口	面積	沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村: 設立されていない場合、今後の見通し:		設立(予定)年月日:		年 月 日設立、認可予定

\* 交付容網で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状(排出量に対する割合)						目標
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成29年度
排出量	事業系 総排出量 (トン)							
	1事業所当たりの排出量 (トン/事業所)							
	家庭系 総排出量 (トン)							
	1事業所当たりの排出量 (トン/事業所)							
再生利用量	合計 事業系家庭系排出量合計 (トン)							
	直接資源化量							
	総資源化量							
熱回収量	熱回収量 (年間の発電量 MWh)							
	中間処理による減量化量 (中間処理前後の差 トン)							
最終処分量	埋立最終処分量 (トン)							

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止、新設理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月	処理能力(単位)	
第一クリーンセンター	太田市	低希釈2段階活性汚泥法 +高度処理	有	100kL/日	昭和59年	更新:平成27~28年度	老朽化	低希釈2段階活性汚泥法 +高度処理	平成28年度	100kL/日	
第二クリーンセンター	太田市	標準脱窒方式 +高度処理	有	120kL/日	平成7年	更新:平成27~28年度	老朽化	標準脱窒方式 +高度処理	平成28年度	64kL/日	
新田クリーンセンター	太田市	ろ過膜分離方式 +高度処理	有	46kL/日	平成3年	廃止:平成29年度	老朽化・経費削減				
藪塚貯留槽施設	太田市		無	160kL貯留	平成13年						

※ 計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付する。



様式2

循環型社会形成推進交付金事業実施総括表2 (平成23年度)

事業種別 事業名称	事業 番号 ※1	事業主体 名称 ※2	規模 単位	事業期間 交付期間		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考			
				開始	終了	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度				
○し尿処理に関する事業							705,000	0	0	0	423,000	282,000	144,200	0	0	0	86,520	57,680	
第一・第二クリーンセンター基幹的設備改良事業	1	太田市	164	kL/日	H27	H28	705,000	0	0	0	423,000	282,000	144,200	0	0	0	86,520	57,680	
○施設整備に関する計画支援に関する事業							44,000	0	17,700	18,000	8,300	0	44,000	0	17,700	18,000	8,300	0	
長寿命化計画策定支援事業	31	太田市			H25	H25	17,700	0	17,700	0	0	0	17,700	0	17,700	0	0	0	
施設整備事業計画	32	太田市			H26	H26	12,000	0	0	12,000	0	0	12,000	0	0	12,000	0	0	
発注仕様書作成	33	太田市			H26	H26	6,000	0	0	6,000	0	0	6,000	0	0	6,000	0	0	
施設設計支援	34	太田市			H27	H27	8,300	0	0	0	8,300	0	8,300	0	0	0	8,300	0	
合 計							749,000	0	17,700	18,000	431,300	282,000	188,200	0	17,700	18,000	94,820	57,680	



## 施設概要(し尿処理施設系)

都道府県名 群馬県

(1) 事業主体名	太田市
(2) 施設名称	第一・第二クリーンセンター
(3) 工期	平成27年度～平成28年度
(4) 施設規模	処理能力 164kL/日(第一:100kL/日 第二:64kL/日)
(5) 形式及び処理方式	第一:低希釈2段活性汚泥法+高度処理 第二:標準脱窒方式+高度処理
(6) 地域計画内の役割	施設の長寿命化によるし尿・浄化槽、農業集落排水処理施設汚泥の適正処理
(7) 廃焼却施設解体 工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	
(9) 資源化物の利用計画	

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び 面積	人口 人 面積 m2
(11) 計画地域の性格	

(12) 事業計画額	705,000 千円
------------	------------

## 計画支援概要

都 道 府 県 名 群馬県

(1) 事業主体名	太田市			
(2) 事業目的	第一・第二クリーンセンター施設整備のため			
(3) 事業名称	長寿命化計画 策定支援事業	施設整備 事業計画	発注仕様書作成	施設設計支援
(4) 事業期間	平成25年度	平成26年度	平成26年度	平成27年度
(5) 事業概要	施設の統合・改良に より、延命化を図る	施設の配置・改造内 容の把握を行う	性能発注による見積 り・仕様書の作成	性能発注後の設計 管理支援
(6) 事業計画額	17,700 千円	12,000 千円	6,000 千円	8,300 千円